

Title	表紙・投稿規定・プレプリント・編集後記・裏表紙ほか
Author(s)	
Citation	物性研究 (1978), 31(3): 211-216
Issue Date	1978-12-20
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/89735">http://hdl.handle.net/2433/89735</a>
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
昭和53年12月20日発行(毎月1回20日発行)  
物 性 研 究 第31卷 第3号

CODEN:BUSKB2

**vol. 31 no. 3**

# 物性研究

**1978 / 12**

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査を行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不相当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

### 投稿規定

1. 原稿は400字詰原稿用紙を使用し、雑誌のページ数を節約するために極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
3. 数式、記号の書き方は Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないような処置をとって下さい。上ツキ、下ツキ、英字の大、花文字、ギリシャ文字、oとaと0(ゼロ)、uとnとr、cとe、l(エル)と1(イチ)、xと×(カケル)、uとv等を赤で指定して下さい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図はそのまま印刷できるものを原稿に添えて下さい。図の縮尺、拡大は致しません。1頁(13×19cm<sup>2</sup>)以内に入らない図、そのまま印刷できない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。図、表の説明は別紙に書き、本文中に挿入位置を赤で明示して下さい。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. **別刷は原則として作りません。**どうしても別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を50部単位で申込んで下さい。別刷代は下記方式により、**現金で納入**していただきます。

(郵券による受付はいたしません)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷1頁の代金 3円

b : 製本代(別刷1部につき) 30円

別刷代 = (ap + b)x + 送料

別刷代金は別刷を受取ってから、1ヶ月以内に納めて下さい。それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがありますから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月10日で原則として次月発行誌に掲載されます。

---

ニュース

---

[東京大学物性研] 1978年10月

◦ 人のうごき

10月2日 Prof. S. Doniach 帰国

◦ 談話会

10月16日 “ Hubbard 模型について ” 高橋 実氏 (物性研)

10月23日 “ 超電導体の近接効果 (低温用二次温度計に関連して) ”

永野 弘氏 (物性研)

◦ 土曜セミナー

9月30日 “  $2 \times 2 \times 2$  格子上的の Hubbard 模型 ( $I = \infty$ ) ”

高橋 実氏 (物性研)

10月14日 “ Domain Wall のブラウン運動と Diffusion Constant ”

和田 靖氏 (東大・理)

[大阪大学] 1978年11月

◦ 談話会

11月2日 「 $\mu$ SR of MnSi」 安岡弘志氏 (東大・物性研)

◦ 特別講義

10月31日～11月2日 「磁性体とNMR」 安岡弘志氏 (東大・物性研)

---

## プレプリント案内

---

[東大・久保研]

- (159) 2. Y. Roinel, V. Bouffard, G. L. Bacchella, M. Pinot, P. Meriel, P. Roubeau, O. Avenel, M. Goldman and A. Abragam  
First Study of Nuclear Antiferromagnetism by Neutron Diffraction
- (160) 2. J. L. Cardy and D. J. Scalapino  
Phase Diagram of a Model for  $^3\text{He} - ^4\text{He}$  Mixtures in Two Dimensions
- (161) 2. H. Mori, M. Tokuyama and T. Morita  
Scaling for the Space-Time Coarse Graining and Kinetic Equations
- (162) 3. Toshio Tsuzuki, Kōichi Osano and Katsunobu Ueno  
Theory of the Peierls-Fröhlich Correlation in a Quasi One-Dimensional Conductor I. Formulation and 3D. CDW Ordering Temperature
- (163) 3. Toshio Tsuzuki, Katsunobu Ueno and Kōichi Osano  
Theory of the Peierls-Fröhlich Correlation in a Quase One-Dimensional Conductor II. Collective Modes in the Fröhlich Model
- (164) 6. Fusayoshi J. Ohkawa  
Negative Temperature Coefficients of Electrical Resistivity of Highly Resistive Alloys
- (165) 6. Mitsuru Tanaka and Akira Ikushima  
Thermal Transport Phenomena Near the Lambdaline of  $^3\text{He} - ^4\text{He}$  Mixtures
- (166) 6. H. Port, D. Rund, G. J. Small and V. Yakhot  
The Exciton-Phonon Interaction for Triplet Exciton Bands of Organic Solids: An Experimental and Theoretical Study
- (167) 13. I. U. Heilmann, G. Shirane, Y. Endoh, R. J. Birgeneau and S. L. Holt  
Neutron Study of Line Shape and Field Dependence of Magnetic Excitations in  $\text{CuCl}_2 \cdot 2\text{N}(\text{C}_5\text{D}_5)$
- (168) 13. Y. Endoh, G. Shirane, R. J. Birgeneau and Y. Ajiro  
Spin Fluctuations in a Random One Dimensional Heisenberg Antiferromagnet:  $(\text{CD}_3)_4\text{NMn}_c\text{Cu}_{1-c}\text{Cl}_3$

- (169) 13. J. Hubbard  
The Magnetism of Iron
- (170) 16. Michiyoshi Oku and Yutaka Okabe  
 $1/n$  Expansion up to Order  $1/n^2$ . IV — Critical Amplitude Ratio  $R_\chi$  —
- (171) 18. Kazuo Ueda  
Path Integral Approach to the Valence-Fluctuating State: Asymmetric Anderson Model
- (172) 18. Gunduz Caginalp and Michael E. Fisher  
Wall and Boundary Free Energies II. General Domains and Complete Boundaries
- (173) 19. Fumiaki Shibata and Motoko Asou  
Critical Phenomena in the Two-Dimensional Random Ising System I
- (174) 19. Motoko Asou and Fumiaki Shibata  
Critical Phenomena in the Two-Dimensional Random Ising System II
- (175) 21. Akira Onuki and Kyozi Kawasaki  
Fluctuations in Nonequilibrium Steady States with Laminar Shear Flow: Classical Fluids near the Critical Point
- (176) 23. H. Haken  
Synergetics: Some Recent Trends and Developments
- (177) 23. T. Yamazaki, R. S. Hayano, J. Imazato, K. Nagamine, S. E. Kohn and C. Y. Huang  
Glant Hyperfine Anomaly between  $\mu$ Pd and RhPd
- (178) 26. Toyooki Naitoh and Syu Ono  
The Shear Viscosity of 500 Hard-spheres via Non-equilibrium Molecular Dynamics
- (179) 26. S. Redner and H. E. Stanley  
Anisotropic Bond Percolation
- (180) 26. Akira Itô  
Successive Subharmonic Bifurcations and Chaos in a Nonlinear Mathieu Equation
- (181) 28. Y. Saito  
Magnetic Correlation Function of the Two-Dimensional Planar Spin Model:

プレプリント案内

Self-consistent Calculation

- (182) 30. Takeshi Watanabe, Hisao Ishizuka, Yoshio Kuramoto and Chuji Horie  
Positions of Ag Ions in  $\alpha$ -AgI Determined from EXAFS
- (183) 30. Miyozo Maeda, Yoshio Kuramoto, and Chuji Horie Lattice Dynamics of First-  
Stage Potassium Graphite Intercalation Compound

---

掲 示 板

---

修 士 論 文 募 集

前号でお知らせしたアブストラクトとは別に本誌では、昭和54年度修士課程卒業者の修士論文を二、三編選び、全文を掲載致します。学術的な価値の高いもの、研究内容がユニークでおもしろいもののほか、研究は完成していないが今後に興味ある問題提起を含むものや Review 的な力作など特色のある修士論文を投稿下さい。

1. 募集締切 : 3月31日
2. 自薦, 他薦は問わない。
3. 論文のコピーを二部お送り下さい(写真を含む場合は、写真を別につけていた  
だいたほうが望ましい)。図の縮尺, 拡大は編集部で行ないます。
4. 採用, 掲載致しました論文の著者には別刷100部, 無料でさしあげます。

物性研究 編集部

## 編 集 後 記

「物性研究」の編集会議は基礎物理研究所の長岡教授室で行われます。窓の高い静かな部屋です。実験室で機械の音の中に住んでいる私にとっては編集会議の時間は日常の中の区切られた時間です。「物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として」物性研究は刊行されています。新米の私は青い表紙の裏に書かれた数行を意識しないではられません。「しかし同人雑誌的な一面もあるのです。」とある日伺いました。きっとそのことがさゝやかとしか言いようのない「物性研究」を支えているのでしょう。「物性研究」を御覧になる皆様どうぞ購読者にではなく同人になって下さいませ。「物性研究」では自由に発表し討論しあうと言うことを自問自答しながら年を越します。

( H. K. )

### 物 性 研 究

第 31 卷 第 3 号  
1979 年 12 月 20 日 発行

発行人	長 岡 洋 介 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭和堂印刷所 京都市上京区上長者町室町西入 TEL (441)1659 (431)4789
発行所	物性研究刊行会 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

## 編 集 後 記

「物性研究」の編集会議は基礎物理研究所の長岡教授室で行われます。窓の高い静かな部屋です。実験室で機械の音の中に住んでいる私にとっては編集会議の時間は日常の中の区切られた時間です。「物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として」物性研究は刊行されています。新米の私は青い表紙の裏に書かれた数行を意識しないではられません。「しかし同人雑誌的な一面もあるのです。」とある日伺いました。きっとそのことがさゝやかとしか言いようのない「物性研究」を支えているのでしょう。「物性研究」を御覧になる皆様どうぞ購読者にではなく同人になって下さいませ。「物性研究」では自由に発表し討論しあうと言うことを自問自答しながら年を越します。

( H. K. )

### 物 性 研 究

第 31 卷 第 3 号  
1979 年 12 月 20 日 発行

発行人	長 岡 洋 介 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭和堂印刷所 京都市上京区上長者町室町西入 TEL (441)1659 (431)4789
発行所	物性研究刊行会 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

## 講読規定

### 個人講読

1. 会費：当会の会費は前納制をとっています。したがって、3月末までになるべく1年間分会費を御支払い下さい。  
なお新規講読お申込みの場合は下記の会費以外に入会金として、100円お支払い下さい。

#### 1年間の会費

1st volume	2,340円
2nd volume	2,340円
計	4,680円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。  
(振替貯金口座 京都5312)  
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。  
雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず購読者本人の名前を明記して下さい。
3. 誌代の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vols.以上の誌代を滞納された場合には、送本を停止することになっていきますので御留意下さい。
4. 一括送本を受ける場合：個人購読中に大学等で一括配布を受けるようになった場合は、必ず「個人購読中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
5. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

### 学校、研究所等機関購読

1. 会費：学校・研究所等での購読及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1冊 730円、1 Vol. 4,380円、年間 8,760円です。この場合、入会金は不用です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。しかし購読申込みをされる時に支払いに必要な請求、見積、納品書各何通必要なのかをお知らせ下さい。  
なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校、貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合の連絡：発行途上にある volume の購読途中中止は認められません。購読中止される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「購読中止届」を送付して下さい。

雑誌未着の場合、発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物 性 研 究 31—3 (12月号) 目 次

○強く相互作用し合っているボーズ粒子系の集団運動の方法による記述 .....五十嵐靖則・中馬 國喜・鈴木 良治.....	169
○Local Heine-Abarenkov Potential of Alkali Metals .....相馬 俊信・佐藤 敏夫・桜庭 勉・山平千鶴子・大山 孝清.....	181
○基研25周年記念シンポジウムに参加して.....	197
素粒子.....伊豆山健夫.....	198
宇宙・原子核.....長岡 洋介.....	202
物性.....村尾 剛.....	205
基研二十五年.....長岡 洋介.....	208
○ニュース.....	211
○プレプリント案内.....	212
○掲示板	
修士論文募集.....	215
○編集後記.....	216

物 性 研 究 31—3 (12月号) 目 次

○強く相互作用し合っているボーズ粒子系の集団運動の方法による記述 .....五十嵐靖則・中馬 國喜・鈴木 良治.....	169
○Local Heine-Abarenkov Potential of Alkali Metals .....相馬 俊信・佐藤 敏夫・桜庭 勉・山平千鶴子・大山 孝清.....	181
○基研25周年記念シンポジウムに参加して.....	197
素粒子.....伊豆山健夫.....	198
宇宙・原子核.....長岡 洋介.....	202
物性.....村尾 剛.....	205
基研二十五年.....長岡 洋介.....	208
○ニュース.....	211
○プレプリント案内.....	212
○掲示板	
修士論文募集.....	215
○編集後記.....	216